

加賀市医療提供体制調査検討委員会女性アドバイザー一部会（第3回） 会議録

日時：平成23年11月21日 午後4時00分開会

出席委員：赤澤部会長、池端委員、岡本委員、中野委員、西本委員、舩田委員、山崎委員

欠席委員：窪田委員、柴田委員、島貫委員

(50音順)

<会議の概要>

○市長挨拶

お忙しいところ大変ありがとうございます。これまで2回に渡り、女性医療スタッフにとって働きやすい職場とはどういうものかということについてご意見をたまわり、今回で3回目となります。基本構想の原案は10月21日公表させていただき、現在パブリックコメントを実施しており、今日までとなっております。これまでにいくつかコメントをいただいております。24日の調査検討委員会では、委員会として最終の構想案がまとまる予定であります。女性アドバイザー一部会でもいただいた観点について十分配慮されたものが提示されていると思っています。基本構想の段階のみならず、これからいよいよ病院建設に向けて新しい展開を始めたいと思っておりますが、その段階においても、皆さまのご意見をたまわりたいということをお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議事

議題1 医療提供体制基本構想原案について

事務局説明 **資料1**、医療提供体制基本構想原案、医療提供体制基本構想原案（概要版）

質疑応答

①基本構想のp44の「(5) 職員にとって魅力ある病院づくり」について、この中に介護世代（家族の介護等が必要となる場合がある40代、50代を中心とした世代）のことも含めていただければありがたい。将来の見通しがきくように介護世代がしっかりと足並みを揃えて仕事をするのが、20代、30代のキャリア組、子育て組を支援することにつながるのではないかと。

事務局 おっしゃるとおり、魅力ある病院は、環境をある程度整えておき、職員が働きやすいようにしていく。当初は子育て世代しか考えていなかったが、この部会で「介護世代の方も」ということを聞き、なるほどと思った。そのあたりは十分配慮しながら働きやすい環境にもっていきたい。

②シニア世代の再就職については、どのように考えるか。

事務局 医療職の人数がカバーできない部門については、60歳を過ぎても、再就職等の形を検討していきたい。人員が確保できれば、若い世代に譲っていただくことを考えていただきたいと思います。

意見交換

- ①すべての世代でいきいきと働きたいというのが私たちの願い。世代にあったサポートを体系づけていただきたい。未満児から小学生になっても、中学生になっても、子どもが育つにつれて、いろいろな問題が生じたり、何らかの事情で一服したい時期があるということも周りからは聞く。「もう終わったでしょ」ではなく、人生を考えてみる時間を持たせていただければと思う。
- ②働き方の選択肢があり、いろいろ選べるとよいのではないかと思います。是非、実現していただきたい。
- ③選択肢のある働き方。それと女性に限らず、男性も含め皆が働きやすい職場ができ、この構想が活かされて全国に広まれば良いと思う。
- ④核家族で小さい子がいる状況では、誰かの支えや病後児保育制度などがないと働くことはできないが、非常に助かっているのも、これらは引き継いでいってほしい。また、男性上司や年代の違う人たちもいるなかで、皆が休みを取りやすく、協力し合い、支え合う職場、男性職員や独身の人も仲良く働いていける職場になればよいと思う。
- ⑤部会報告p5の図表の中の「子育て世代を支援する側の働く環境も整備」という部分を強調してもらえればよいのではないかと。
- ⑥選択肢のある働き方を利用させていただいたことで、乗り切って続けられていることに感謝している。つまづいて退職した看護師からは、「私のときにもそんな制度があったら・・・」という声もあった。辞めずに済み、続けられることは、ありがたいと思う。復職を考えている人もおり、新しい病院になるようだがどうなるのかと相談されることもある。この場に参加していること、加賀でも良い病院が建つと思うよと、子育てで一旦離職された人たちに伝えていきたい。すべて叶わなくても理想に少しでも近い病院ができることを私も期待している。年代ごとの特徴をとらえて世代間で支えあうことが非常に大切だと思った。「私たちのときは育休もとれなかった」という声も聞こえて、心苦しいこともあった。世代間で支えあえるシステムがあると、お互いを思いやって良い職場を作っていけると思う。
- ⑦こういう制度がありとても良かった、という実体験を広報できるシステムがあれば、若い人や支えてくれた世代の方々にも、将来の皆さんの働く目標ができると思う。再就職の相談があるということは、眠っている人材がたくさんいるということ。それを掘り起こすネットワークを維持していただき、「現場の声を行政へ」となれば良いものができるのではないかと。
- ⑧「子育て」ということだと終わってしまったな、と思ってこの会議に参加したが、社会参加は長く続くものだと思感した。男性も女性も明るくいきいきと仕事をしていくために少しでも良い環境づくりをとという視点で意見を述べさせていただいた。
- ⑨部会報告p5の図表のようなものを基本構想に入れていただければ、長い文章がなくても一目で、すべての男性も女性も協力していただけるものができるのではないかと。

議題２ その他

事務局説明

今後の予定について

- ・いただいたご意見については、整理したうえで、２４日に開催する医療提供体制調査検討委員会に報告させていただき、可能なものは反映したい。
- ・調査検討委員会では、本日まで受け付けているパブリックコメントのご意見も踏まえて委員会としての構想案をまとめる。
- ・この部会は計３回の開催予定としており、今回で一旦終了させていただく。構想ができあがれば、施設の建設計画や各部門の運営契約、人事制度の計画等、新病院の基本計画の策定に取り掛かる。その中で必要が生じたら、再度この会議を開催させていただき、ご意見を伺うことがあるかもしれないので、その場合は、是非よろしくお願いしたい。

○総務部長挨拶

赤澤先生をはじめ、委員の皆さまには、忙しい中３回に渡り出席いただき、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。調査検討委員会で検討することになりますが、基本構想は大つかみでしか記載できないものであります。皆さまの意見、提案は、これから基本計画、実施設計と進む中で具体的にしていきたいと思えます。今ほどの説明にもあったように、このような部会を設けていくか、個々に伺うかは決まっていますが、お手数をおかけすることもあるかと思うので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○赤澤部会長挨拶

３回に渡って行われた女性アドバイザー一部会を終了させていただきます。また、机上の議論だけで終わらず、女性職員がより良く、さておいては全ての職員がいきいきと働ける環境が実現されること、また斬新な加賀モデルとして全国に羽ばたける就職の形態モデルができることを祈念して、この会を終了させていただきたいと思えます。３回に渡りありがとうございます。

○閉会

午後４時５０閉会